

生きがい通信

No.197

公益社団法人 習志野市シルバー人材センター

習志野市屋敷4-6-6 東部保健福祉センター内
TEL493-8011 FAX493-8040

URL:<http://www.sjc.ne.jp/narashino/> E-mail:narashino@sjc.ne.jp

令和6年6月30日現在
会員数:808名
男性632名 女性174名
未回答 2名

令和6年度定時総会

令和6年6月21日(金)午前10時00分より
リッツ習志野市民ホールにおいて令和6年度定時総会が開催されました。
昨年度に引き続き、通常での開催となりました。

行方慎一郎会長の挨拶に続き、ご多用の中ご臨席いただきました来賓の方々から心温まる祝辞をいただきました。

習志野市長 宮本 泰介 様

習志野市議会

議長 佐々木 秀一 様

習志野市社会福祉協議会

副会長 高橋 君枝 様

休憩を挟み再開後、6名の会員表彰が行われ、代表で平尾剛会員(津田沼地区)が受領されました。

その後、議事に入り、森嶋準一氏(谷津・奏の杜地区)が議長に選出され、進行上の諸注意の説明があり、審議に入りました。
各議案とも承認され、午前11時25分に本総会は滞りなく終了いたしました。



行方慎一郎会長



宮本泰介市長 あいさつ

議案第1号 定款の一部変更について
報告第1号 令和5年度事業報告について
議案第2号 令和5年度決算について
監査報告
報告第2号 令和6年度事業計画について
報告第3号 令和6年度収支予算について



会員表彰の平尾剛会員



佐々木秀一議長 あいさつ

私のふるさと紹介

谷津・奏の杜地区 赤羽 義郎

「人情の溢れた東京都中野区新井町の今昔」

「うさぎ追いし、かの山」

「こぶな釣りし、かの川」

山も海も登場しない故郷だが、それでもこの街には「向こう三軒両隣り」の人情と思いやりが溢れたぬくもりがあった。煮物を作れば隣近所に配り、味噌、醤油を切らせばお互いが融通し助け合う、そんな終戦間もない町の風景を、記憶をたどりながら紹介したい。

夜明けの街には「トフィ〜トフィ〜」と豆腐屋のラッパの音が早い朝の時を知らせ、夏には金魚売りが、「工〜金魚工〜金魚お〜」と涼しげに風鈴を鳴らしていた。街角のマーケットには近所のお母さん連中が割烹着姿で慌ただしく買い物をしている。そんなにぎやかな風景がそこかしこに見られ、戦後の重苦しい空気



はもう、そこにはなかった。

時は、復興と第1回東京オリンピックの開催に向け、突貫工事が毎日のように道路を掘り起こし土埃を上げ、街全体が活気づいていた。高い建物はまだ少なく、物干し場からは新宿の伊勢丹が遠くに見えていた。映画にもなった「旧陸軍中野学校」の広い原っぱは子どもたちの格好の遊び場で、現在は高層ビルがそびえ立ち、大学が入り、また多くのスターたちがステージに立った中野サンプラザは今、新しく生まれ変わろうとしている。隣町の野方にはレンガ造りの中野刑務所が在り、年に何回は脱走を知らせる「ウ〜」と異様なサ

イレンが街の人たちを怯えさせていた。食べ物では確かラーメンが35円、掛けそばが25円だったと記憶している。今、若い人たちが賑わっているブロードウェイを一本横道に入ると、そこは昔の映画セットを思わせるノスタルジックな飲み屋街があり、今でも当時の面影を残しているのがやけに嬉しい。昭和20年代後半の中野駅北口広場には力道山、ルーテーズ、シャープ兄弟などのプロレスを映したちっぽけな街頭テレビに人が群がり皆、夢中になって観戦していた。

夏休みの終わりに友達が楽しげに語る故郷の話に入れずちよっぴり寂しい思いもしたが、それでも1週間ほど、従兄弟の住む逗子の海岸で一日中泳ぎ、日が暮れても帰らず皆を心配させた思い出が蘇る。

そんな訳で故郷を持たない私だが、わが街、中野区新井は甘酸っぱく、ほろ苦い青春を過ごさせてくれ、寒空に、皆で焚火を囲むように体も心も温かく、ほっこりさせてくれた、そんな街を思い出して、古き



良き時代を残すあの飲み屋街を、銀幕のスターになったつもりで年に2〜3度、竹馬の友と飲み歩き、当時を振り返り語り合うのを楽しみにしている。

夢の輪便り

心を合わせ豊かな「とき」が令和の今に蘇る！
シルバー人材センター発
ああ懐かしや 昭和溢れる

第一回 (5月14日 プラッツ習志野にて)

市民歌声広場 開催

50名を超える参加者がありました。



第二回目は
8月8日
プラッツ習志野にて
行います

★シニアの方ならどなたでも参加できます。お友達を誘ってぜひご参加ください。

行事予定



入会説明会(定例月3回)

毎月第2・第3水曜日
午前9時30分～
毎月第2金曜日
午後1時30分～
シルバー人材センター会議室

出張入会説明会(不定期)

令和6年8月16日(金)
午後2時～
『プラッツ習志野北館1階
集会室2』

令和6年9月20日(金)
午後2時～
『新習志野公民館2階多目的室』

就業相談(予約制、会員限定)

毎月第2・第3水曜日
午後1時～(30分単位)
シルバー人材センター会議室

刃物研ぎ作業

毎月5日、12日、20日
午前9時～
袖ヶ浦作業所
毎月第4木曜日 午前9時～
シルバー人材センター会議室

(事務局)

編集後記

コロナ禍明けの昨年、4年間中断していた知人友人との再会が幾つか復活した。猛暑もあり、ハードな半年間であった。

今年も皆と逢える機会があるなぁと楽しみにしていた矢先、熊本出身の同期の訃報が届いた。彼は16、7年前に若年性認知症を発症したと奥さんから聞いていた。知らされた当初は、少しでも彼の記憶を呼び起こせないかと私と彼の共通の物(学生時代の運動部の記念品)などを送ってみたが、奥さんからは全く思い出せないと返信があった。

この病気の怖さを知って以降、年賀状だけは欠かさなかったのだが・・・。

彼の一周忌に同期の「仏師」が作る木彫りの仏像を友人数名の連名で贈ることにした。

広報部会

エッセイ

下宿のおばさん

関 博夫(花咲地区)

数年前より高校の会報が届くと、高校生の頃下宿していたことを思い出す。

下宿先のおばさんは東京からの後妻さんで、多い時は一人で4人の下宿生の面倒を見ていた。弁当付きの三食なのだが質素で、時々クラスと同級生が同情したのかおかずを分けてくれた事もあった。



時折、夜食用に当時始めのインスタント拉麺と甘納豆を買い込んで空腹を満たした。
3年生の冬、受験の為に、上京した直後、母親からおばさんがなくなったとの知らせがあった。葬儀には参列出来なかった。



下宿先

もうおばさんの亡くなった歳はとっくに過ぎたが、代替りした下宿は今もある。訪ねる機会があったら思い出用に近影を撮って来ようと思う。